

「伊崎田相撲の伝承活動」

1 学校名 志布志市立伊崎田小学校

2 学年・人数 全校児童 78名

3 場所・日時

(1) 練習の場所・日時

- 校内相撲教室 伊崎田小学校 相撲場 平成28年10月8日

(2) 発表の場所・日時

- 第108回伊崎田相撲大会 伊崎田小学校 相撲場 平成28年10月16日

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事や史跡について

(1) 名称

- 伊崎田相撲大会

(2) 由来

伊崎田相撲は、昭和41年に発布された戊申詔書の精神に沿い、その翌年から在郷軍人らを中心に始められた。以来、第二次世界大戦中の1～2年をのぞき、絶えることなく伝統行事として続けられてきた。現在は、五穀豊穰・家内安全・地域の融和親睦が目的である。

(3) 構成等

ア 校内相撲教室

- ・ 地域の方を講師に、全校児童を対象に相撲教室を開催し、相撲のルールやマナーについて学習を行う。(土曜授業)

イ 伊崎田相撲大会

- ・ 小学生は全校児童が相撲の取組を行う。
- ・ 中学生は全学年男子が相撲の取組を行う。女子は化粧まわしを作成する。
- ・ 希望する赤ちゃんが土俵入りを行う。
- ・ 一般の方が相撲の取組を行う。

5 保存会や地域との連携の具体

- 管理職による伊崎田相撲実行委員会への出席と打合せ
- 創意や総合的な学習の時間の相撲教室の開催と講師（地域の伊崎田相撲経験者）の招へい

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

- 校区の方に指導していただき、相撲教室を開催している。
- 伊崎田相撲当日は、まわしの締め方等校区の方に指導していただき、相撲の取組を行っている。
- 「しぶしの日」(4月24日)に、校区の伝統的な行事について、伊崎田相撲の例も挙げて、全校児童が学ぶ機会とした。

7 取組の様子(練習状況、発表の場等の写真)



(相撲教室の様子)



(伊崎田相撲の様子)

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想

(1) 児童の感想

- 108回も続いていて、自分たちもその伝統を続けることができていると嬉しい。
- 毎年、たくさんの人たちが応援してくれて、嬉しい。
- 1回だけでなく、3人抜きなど、何度か相撲をとるチャンスがあるので、がんばれた。

(2) 保護者の感想

- どの学年も一生懸命に相撲をとっていて、とても気持ちがいい。
- 108回という伊崎田相撲に誇りを感じる。いつまでも続けてほしい。
- 負けても何回か相撲をとることができるので、見ているほうはとてもよかった。

(3) 保存会の感想

- 伝統ある大会なので守り継いでいきたい。
- 小学生の取組での応援や、赤ちゃん土俵入りの参加者も多く、活気があった。
- 今年は雨が心配されたので、開始時刻を早め、午前中から始めたが、かえってその方が運営しやすかった。来年もその方向で計画していきたい。

(4) 教員の感想

- 児童にとって貴重な体験であり，今後も大切にしていきたい。
- 伝統ある行事が続いていることは素晴らしい。学校としても関わりを続けていきたい。